

 **araneo**<sup>TM</sup>  
**リリースノート**

---

バージョン 1.5.0

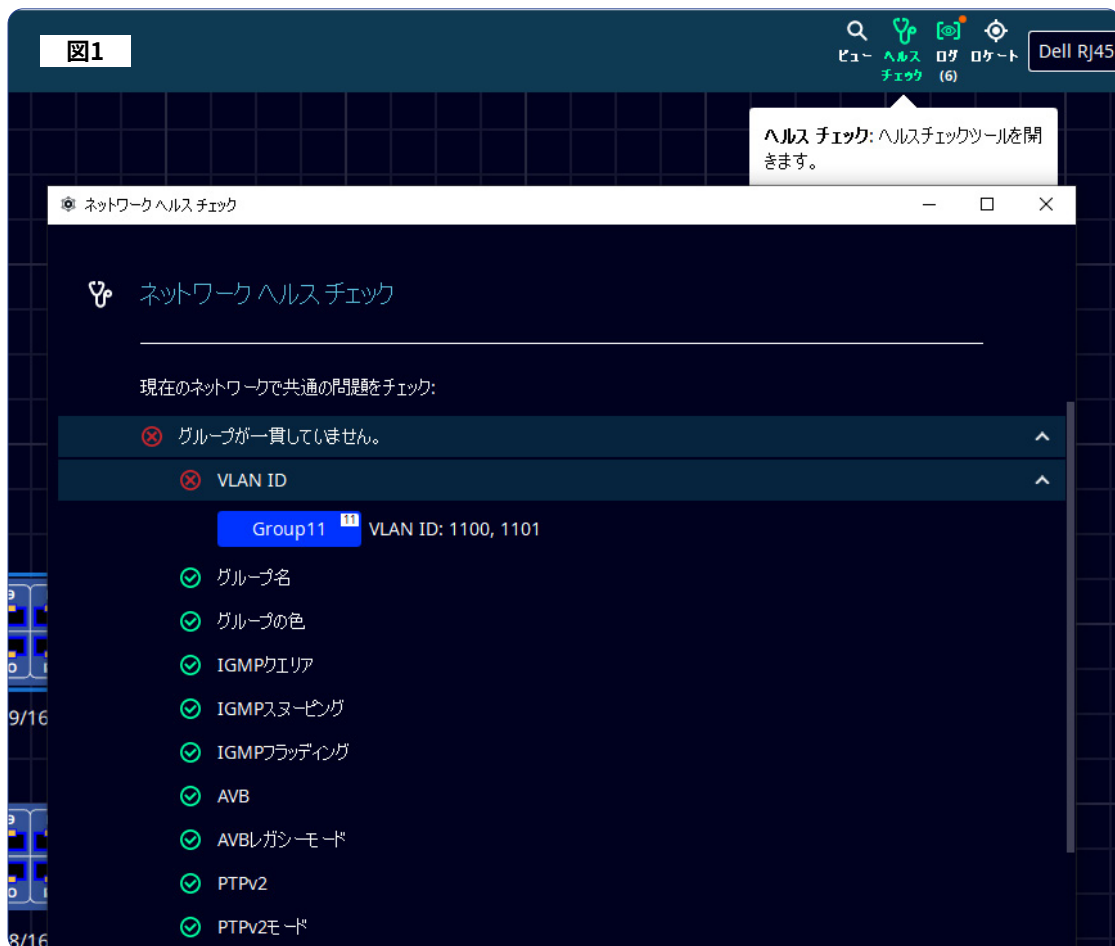
## ドキュメント情報

このリリースでは、ネットワーク全体の設定の一貫性を保つ支援をする新機能、ユーザーインターフェースの改善、日本語のサポート、バグの修正、および、GigaCore 30iとその将来のバージョンの対応、その他多数を提供します。

## NEW

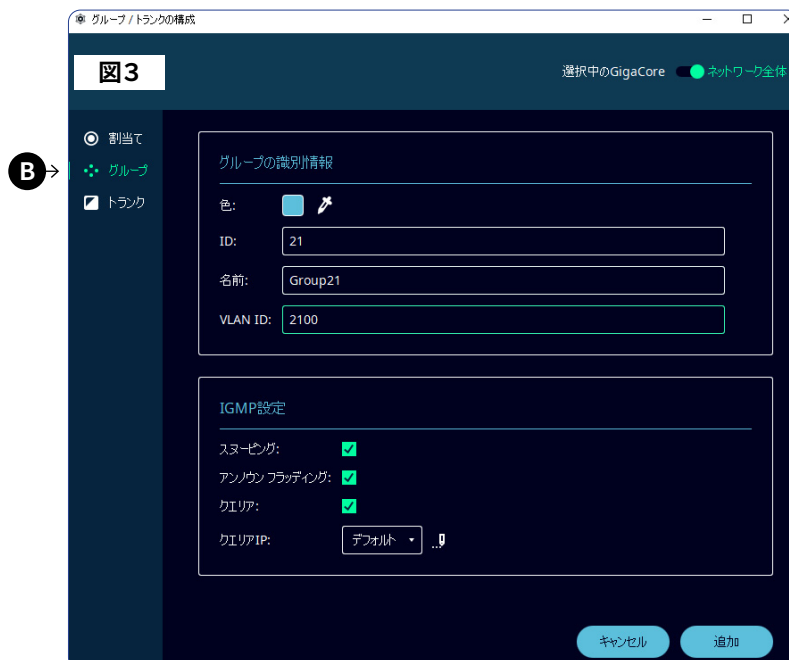
### 新機能：ヘルスチェック

- 新たに追加された**ヘルスチェック機能**は、重要なチェックを自動でおこない、一貫性が無い項目をユーザーに知らせます(図1)。これにより、GigaCoreスイッチのネットワーク全体にわたる設定の一貫性を簡単に保つことができるので、ユーザーはネットワークに対してより大きな自信を持つことができます。



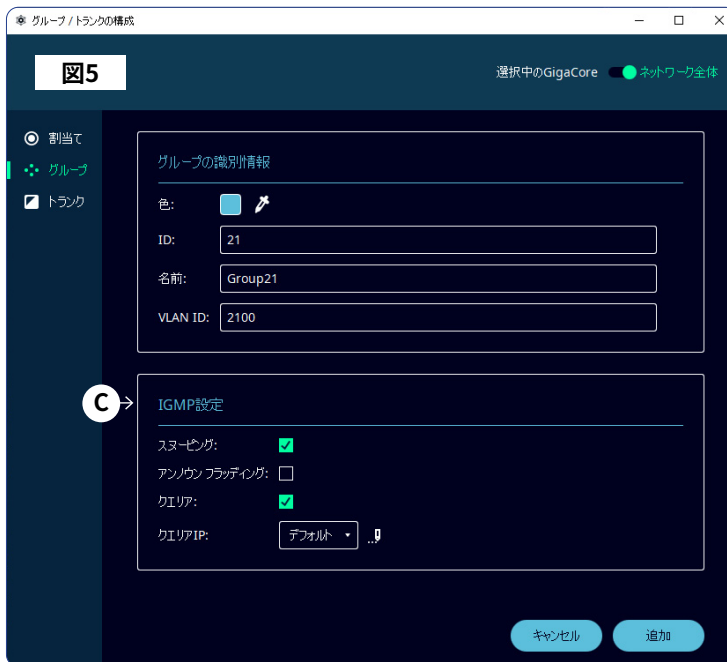
## 新機能: GIGACORE 30I のサポート

- ARANEO™が新たにGigaCore 30iをサポートしました。また、GigaCore 30向けに、ユーザー定義が可能なグループ (VLAN) とトランクのネットワーク全体の対応が追加されました(図2-A)。グループの色、名前とID、そして、例えばIGMP設定などのユーザーが定義可能なその他のパラメーターをグループごとに設定しつつ、これらの設定をすべてのスイッチで確実に同じにできるので、ネットワーク全体で一貫性を保つことができます(図3-B)。



## 新機能:IGMPクエリアの表示と設定

- ARANEO™は新たに、ネットワーク内のどのGigaCoreスイッチがIGMPクエリアであるかを表示します(図4)。IGMPクエリアのIPアドレスは、デフォルトのままにすることも、グループ設定のダイアログで任意に設定することもできます(図5-C)。



## 新規:使用許諾契約 (END USER LICENSE AGREEMENT)

---

- ソフトウェアと、スイッチのファームウェアの初回使用時や、工場出荷状態へのリセットから再起動する際に、ユーザーが同意するための**使用許諾契約 (End User License Agreement)ダイアログ**を追加しました。

## ユーザーインターフェースの改善で更に使いやすく

---

- Araneoに日本語を追加しました。
- ビューの0番を一番上に配置し、順序をより分かり易くしました。
- 自動レイアウト実行の確認ダイアログを表示するようにしました。
- 自動レイアウトを行う際にキャンバスにピン留めされていないアイテムがある場合に、ユーザーへの通知または警告として、「グラフ上のピン留めされていないデバイスとゾーンの位置が変更されます」という追加の確認メッセージを表示するようにしました。
- 表示される**SFP**関連の情報の正確性を確実にするために改善とチェックを行いました。

## バグの修正

- ゾーンを削除する際に、デバイスが誤って再配置されることがなくなりました。
- Managementグループで**PTP**モードが無効にできなかったバグを修正しました。
- エンター/リターンキーを押すと、誤って自動レイアウトが実行される問題を修正しました。